



平成17年度 天竜川水系遠山川流域CCTV設備工事

工期：平成17年10月7日～平成18年3月17日

○工事概要



大渡堰堤

CCTVカメラからこのような画像が遠山川砂防出張所及び天竜川上流河川事務所に送られ常に監視出来るようになります。

本流域は、南アルプスに源を発して天竜川に注ぐ流域面積168.5Km²流路延長22.5km、平均勾配1/14の急流河川である。勾配区分図では主要支川以外の小支川は、土石流発生・流下域となっており、地形が急峻で地質も脆弱なこと、標高3000m程度の高山地域を含むことから、山腹の表層崩壊に加え、大規模崩壊、斜面クリープ、地すべりなどといった一時に多量の土砂が生産される土砂生産形態が多くみられる事が特徴となっている。

このため、昭和36年6月の梅雨前線豪雨、昭和40年9月の台風24号をはじめ多くの土砂災害が発生している。

本工事は、この遠山川流域の遠山川砂防出張所鉄塔、三ッ沢第二堰堤、遠山川上村川合流点、大渡堰堤の4地点にCCTVカメラを設置し、光伝送装置を用いて遠山川砂防出張所及び天竜川上流河川事務所へ画像を送り、土砂流出状況を監視し、自然環境や生態系の保全を図る事を目的として施工するものである。



遠山川砂防出張所鉄塔カメラ



遠山郷のあれこれ



曹洞宗 盛平山 龍淵寺のご住職
遠山郷の歴史についてお尋ねさせて頂き、色々聞かせて頂き、有難うございました。



龍淵寺 山門



龍淵寺 本堂



遠山氏の墓

龍淵寺(りゅうえんじ)は、大永元年(1521)5月遠山郷和田城主 遠山遠江守景廣(とうとうみのかみかげひろ)をお祀りする為、建立されました。遠山氏は下條氏とやらんで信濃南端の一強豪であった。景廣は、武田氏に加担し織田軍の侵攻から高遠城を守る為、馳せ参じたが落城し、鎌倉へのがれ没した。長子の土佐守景直(とさのかみかげなお)は、徳川氏に仕え、いくつかの功績を上げ、家康と岡崎城で初対面した時、昼食を共にしたが、景直は左手で茶碗を隠しながら食べ、食後、茶碗の上に箸を並べて置いた。家康は、不思議に思い「何故茶碗を隠しながら食べたのか」と尋ねた。景直は「遠山は山間で粟、稗を常食としてる故、貴人の前では、これを隠す習慣になっている」と答えた。その事から、家康から加増を受け、食後、箸を茶碗の上に置く珍しい作法から家紋を丸に二の字にするように命じられたとの事です。



遠山の埋没林



小道木橋

木沢ダム付近～小道木橋下流にかけて沢山の埋没林が発見された。小道木橋が何度作っても壊れるので調査すると埋没林の上に橋脚を立てていた事が判った。西暦714年頃の杉やヒノキ、ケヤキが何本も発見され、生態系や地質学的に貴重な存在。もっと大切に保管すべきであると住職は言っておられた。

ウォーキング講座実施中!

南信濃公民館主催のウォーキング講座が2月11日の土曜日から4回にかけて健康づくりと生活習慣病などの予防の為、実施されています。2/25(土)は好天の中、B&G海洋センター～かぐらの湯往復で理想的な歩き方の講座が行われました。



請負人 (株)日立国際電気
現場代理人 小垂 恒夫

現場事務所
TEL:
0260-34
-1021

